

# ドイツ日記

久保 実析

## はじめに

私は今まで、ニュージーランドと中国に行ったことがあります。ドイツを含めヨーロッパは初めて訪れる場所です。ヨーロッパと言えば、クリーム色の建物や石畳の道、緑あふれる自然など華やかなイメージが想像できます。ドイツも例外ではありません。おいしい食べ物や自然、EU きてのエコ大国のドイツ。初めてのヨーロッパがドイツであることがとても楽しみで嬉しくて、なかなか寝付けず出発日となってしまうしました。これからどんな出会いが待っているのか。よい旅になりますように！

る場所もありました。二枚の壁の間には、1メートル程の間隔があり、その間に地雷が埋め込まれており、一枚壁を越えたとしても、地雷で被爆し、監視官に見つかってしまった、という人もたくさんいたそうです。



## ベルリン！！

ついに着いたドイツ、ベルリン。外に出てまず驚いたのが、道路も建物も大きいこと。面積は日本と変わらないと聞いていたのに、「日本と違い、なんと広々としているのだろう」というのがドイツの第一印象でした。ベルリンで訪れた場所は、ベルリンの壁、ベルガモン博物館、ドイツ国会議事堂、ベルリン大聖堂、ソニーセンター、ブランデンブルク門です。

## ソニーセンター

ソニーが手がけた一面ガラス張りの建築街。中には映画館やカフェ、ショッピング街になっていました。天井は外から見ると、富士山に見えるように造られています。高技術のガラス張りの建物、同じ日本人として「さすがソニー」と感動、そして誇りに思いました。



## ベルリンの壁

ベルリンの壁は世界中のアーティストによって描かれ、一面アートの壁のようでした。意外だったのが、私の想像より壁は薄く、頑丈ではなさそうだなと思ったことです。壁は一枚であつたり、二枚になってい

## ブランデンブルク門

ドイツ、ベルリンのシンボルとされている門。門の上にいる勝利の女神ヴィクトリア像が、また一層と門を堂々としたものになっています。東西にベルリンが分かれていた時は、この門は東ベルリンに位置していて、西ベルリンとの境界線がすぐ近くにあります。観光客が多く、ミッキーマウスやダースベーダーなどの着ぐるみを着た人たちが沢山いて、にぎやかなお祭りのようでした。



## ドイツ国会議事堂



国会議事堂の上にガラスのドームがあって、中に入って見学することもできます。屋上からはベルリン市街を望むことができ、眼下に議場が覗けるようになっています。ただし、中に入るには厳重なセキュ

リティチェックがあるそうです。ドーム内を見学したかったのですが、時間に限りがあり、行けなくて残念でした。

## ベルリン大聖堂

やっぱりドイツの建物はみんなゴツイとと思っていましたが、この建物が一番ゴツかった。大きく、堂々とした重厚感のある造りに、歴史の重みをすごく感じる建物でした。「これぞ、ドイツ建築」という印象でした。



## ベルリンまとめ

あっという間のベルリン 2 日間でした。クリーム色の家々や、石畳の道はヨーロッパにきたことを強く感じさせるものでした。ベルリンは日本の首都とは違い、緑が多くとても広々としていて、「ドイツ人の緑好きは羨ましいな」と思いました。しかし、まだ東西の寂しい空気をどこか漂わせていているように感じました。ガイドさんに聞いたところ、壁が崩壊して 20 年以上経つにもかかわらず、東西のコンプレックスはまだ残っているようです。

一見華やかに見えるベルリンは、未だ東西ベルリン分断という大きな傷がまだ癒えることなく残っていて、それがどこか寂しさを感じる原因だったのかと思いました。

## アウクスブルク到着！！

アウクスブルクに到着して私はテンションが上がりました。なぜなら、建物がとっても可愛いのです！童話の中に出てくるような町並みで、中世のヨーロッパのようでした。私はドイツに行く前にディズニーの「ラプンツェル」という映画を見ていたのですが、まさにアウクスブルクはその映画にでてくる町と同じような町並みでした。

## ホームステイ先との初めての面会

ついにドキドキのホームステイ先との面会の日。ステイ先はみんなとっても仲良しのゼーザー一家。特に同い年のヴァレリーは日本語が本当に上手でびっくりしました。みんな笑顔がすてきで「私たちは日本が大好きよ！」と言ってくれました。家族皆、英語ができるそうで、私はあまり英語に自信がなく心配でしたが、下手な英語や身振り手振りを使ってコミュニケーションすることができました。みんなゆっくりとした英語で私たちに話してくれて、とても嬉しかったです。



ゼーザー一家との first shot !

## 念願のサイクリング

ドイツに行く前にヴァレリーとのメール

のやりとりで、私は「サイクリングがしたい！」と言っていたので、自転車を用意してくれていました。夕食ができるまでの間、サイクリングをしようということでした。私はアウクスブルクの町並みをもっと見たかったのと、念願のサイクリングに大喜びでした。

しかし、思わぬ盲点がありました。それは、建物や道路が大きいと同じく、自転車もドイツサイズでした。サドルを一番低くしてもらったのですが、足が地面にぎりぎり届くくらいで、不安定なままのサイクリングスタート。ドイツ人との体格の差に少しカルチャーショックを味わった一日になりました。町は坂道も少なく、サイクリングにはもってこいでした。噴水のある大きな公園（ヴァレリーは小さいと言っていました）、教会やお墓、あと消防士の訓練施設を見に行きました。



噴水公園にて

翌日に備えて、その日は早めの就寝となりました。

## アウクスブルク市長表敬訪問

この日は市長表敬訪問という特別な日でした。スーツスタイルで気持ちを切り替えて、市庁舎に向かいました。アウクスブルクの市庁舎はとても立派な建物で、中でも



市庁舎内の「黄金の間」の豪華さには感銘を受けました。アウクスブルク市長は、とても身長が高く、フレンドリーな素敵な方でした。

アウクスブルク市長、尼崎市、長浜市の団長たちの挨拶の後、芳名録にそれぞれが署名をし、「黄金の間」で記念写真を撮りました。

最後にお土産にくださったアウクスブルクの本とアウクスブルクのロゴが入った時計がとても嬉しかったです。



## フッガーハウス

フッガーハウスはまるで小さな町のようにでした。黄色いクリーム色の建物で屋根はレンガ色で統一しており、とても温かみを感じる場所でした。しかも、福祉施設だけあり家賃がとても安いのです。住むにはいくつか条件があり、私は当然条件に当てはまりませんでしたが、「こんな可愛らしいところに住めたらな」と思いました。



## 新市立図書館

新しく建設された市民図書館。天井の窓は特殊な技法で作られていて、太陽光をうまく利用し、図書館全体を明るくする効果があるのだそうです。図書館には珍しく、楽器などを練習する為の防音室もありました。



## ドイツの市民マーケット

図書館訪問から徒歩で向かったのが、ドイツの市民マーケット。ここでは、様々なハムや、ケーキの試食をしました。



ほとんどのお店がヨーロッパならではの

露店販売。八百屋には、今まで見たことのない野菜がたくさんありました。そこでは黒にんじんを試食。生のにんじんはあまり好きではなかったのですが、甘味が強くておいしかったです。

## ブレラー市民祭り！



ブレラー市民祭りは移動型の小さな遊園地のようなものでした。みんなドイツの民族衣装のディアンドルを着ていました（おそらく、日本人が夏祭りに浴衣を着ていく感じ）。さらに、ヴァレリーが私用のディアンドルを用意してくれていて、なんとディアンドルを着てのお祭りでした。この衣装を着る時期は限られていて、すごく貴重な経験をすることができました！

なんと、市民祭りにはアウクスブルク市長もお越しで、ビールテントでは演奏者を一番前で見るができる特等席を用意してくださいました。約 3000 人収容できるビールテントにはたくさんのおじいちゃんおばあちゃんがいて、みんなでドイツの乾杯の音楽に合わせて乾杯しました。私の中で、ドイツで一番楽しいひと時でした。

夕方は、ママとヴァレリーのお兄さんのローマンとビアガーデンに行きました。そこで、ベルリンで食べることができなかった、カレーヴルストを頂きました。デザートのリングのフライはとても美味でした。



## ドイツのサウナ

ゼーザー家には地下にサウナがあり、実際にいらさせていただきました。ドイツのサウナはフィンランド式。サウナ室で汗をかいたあと、サウナ室を出てしばらく歩いてから、冷水で一気に体を冷やします。すると冷水をあてた時のショックで体がぼかぼかとなります。これを 2、3 回繰り返します。とても体が温かくなって、この日はぐっすり眠ることができました。

## ノイシュヴァンシュタイン城

ノイシュヴァンシュタイン城は、私がドイツで一番行きたかった場所でした。私はディズニーが大好きで、シンデレラ城のモデルになった城を見ることができるなんて夢のようでした。ノイシュヴァンシュタイン城の周辺は山で、天候がよく変わる為、もしかしたら雨が降るかもしれないと言われていて、心配だったのですが、天気は良く、城の全貌を見ることができました。

城中は城の象徴である白鳥とブルーの物が多く、上品で豪華な造りになっていました。最も行きたかった場所でもあったので、とても感動しました。その夜は日本とドイツの青年使節団員皆でボウリングに行きました。



## プッペンキステ博物館

プッペンキステ博物館内には童話で見たことのある「赤ずきん」や「三匹の子豚」など、有名な作品の人形から、プッペンキステオリジナルの作品の人形が展示されていました。どの人形も手作りで一つ一つ丁寧に作られており、どれもとても可愛い人形たちでした。人形をどのように動かしているのか、人形を動かしている人はどこにいるかなど、舞台裏なども見学させていただきました。博物館内にはプッペンキステの舞台映像が流れていてそれを拝見しました。

その後はモーツァルトハウスへ向かいしました。モーツァルトのお父さんがアウクスブルク出身だということには驚きました。このアウクスブルクにあのモーツァルトも訪れたのでしょうか。

その日の夕食はパパの手作り料理でした。ワイルドな肉を肉で巻く男の料理。パパは料理がとても上手で、ヴァレリーがとっても羨ましかったです。「すごくおいしかったあー！」

## フェアウェルパーティー

日本では時間がなく予行練習などしてこなかったのが、開始前はバタバタと忙しく大変でした。司会もみんなの前で緊張したのですが、楽しむことに集中しました。なんとか歌も終わりビンゴ大会も盛り上がり、何よりお世話になったホストファミリーの皆さんが楽しんでくれたので本当に良かったです。市長さんにビンゴの時、「Good performance!」と言ってもらえたのがすごく嬉しかったです。

## 最後に

アウクスブルクの人たちと過ごした時間は、忘れることができない大切な思い出となりました。そして今度は、「皆さんに日本の事を沢山知ってほしい、教えたい」と思いました。このアウクスブルクの人たちとの交流は、一期一会ではなく、いつまでも続く関係にしたいと思っています。そして、次の青年使節団の方へと繋がるように、国際交流にどんどん参加していきたいと思います。今回、ドイツ訪問という貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

